

10月22日

2015年
(平成27年)

木曜日

第18454号(日刊)

土、日曜・祝日は休刊

Metal & Technology

鉄鋼新聞

桂スチール

姫路にBH新工場

一次加工、極厚溶接ライン設置



三木社長

ビルドH形鋼加工最
大手の桂スチール(本
社・兵庫県姫路市、社
長・三木桂吾氏は、姫
路市豊富町に穴あけ、
切断、開先など一次加
工設備、40ミリの超の極厚

専用の溶接ラインを備
えた新工場を設立す
る。来年2月末には稼
働予定。一次加工を内
製化し、生産効率を高
めるとともに、これま
で受注の少なかった土
木や大型プラント向け
などからの受注を増や
したい考え。総投資額
は12〜13億円を見込
む。

約4万2千平方メートルで、
工場棟は計12棟。同社
はそのうち2棟を活用
する。残りの10棟は他
企業に賃貸する予定
で、すでに7割は賃貸
先が決まっている。工
場の利便性を高めるた
め、主要道路である播
但道路に直結するよ
う、道路整備を進める。
また、約1万平方メートル
の製品ヤードも設ける考

えで「重量物の一時預
かり場所」(三木社長)
とし、クレーンを2基
設置する計画だ。
月産量はBHの穴あ
け、切断、開先など一
次加工で1500トン、
溶接ラインで1千トンを
見込む。工場屋根には
発電量1300キロワットの
太陽光発電設備を据え
付ける。同社は姫路市
内や岡山県でも太陽光

発電を行っており、新
工場の設備が稼働する
と、同社の発電量は計
6500キロワットになる。
40ミリの超の極厚溶接は複
数回溶接するのが普通
だが、一回(ワンパス)
で溶接できるようにす
る。三木社長は「4面
ボックスでは採用され
ている技術だが、BH
では初」と話す。
同社は建築分野から

の受注が全体の9割超
を占めているが「東京
五輪後の建築需要は厳
しい」(三木社長)と
予測。土木や大型プラ
ントなど建築以外の分
野からの受注増を目指
し、これら分野の受注
を「全体の2割程度に
まで引き上げる」(同
方針だ。
同社は岡山県を中心
にBH工場や厚板溶断
工場がある。年産量は
溶断加工を含め約8万
トで、売上高は約13
0億円。グループ従業
員は210人。今期は
新工場設立のほか、主
な設備投資として、玉
野工場(岡山県)にあ
る岸壁の修繕に約1億
9千万円を投じる。